

## 【吉備中央町】校務DX計画

### 1 現状と課題

吉備中央町では、小学校が9校(令和7年4月に3校へ統合予定)、中学校が1校あり、中学校のみ校務支援システム(オンプレミス環境)が導入されている。校務支援システムが導入されていない小学校では、紙ベースの業務が主流となっているため、令和7年4月の小学校統合を契機に校務支援システムの導入を検討している。

中学校においては、オンプレミスで校務支援システムを運用しているが、学校内外の関係者や教育委員会事務局とのコミュニケーションの迅速化を行うことが求められているので、クラウド化し柔軟かつ安全な運用が課題となっている。

### 2 次世代の校務支援システム

次世代校務支援システムの導入完了(令和11年度まで)に向け、令和8年度までに導入の検討を開始する。

### 2 校務DXの推進

- (1) 教職員のICT活用能力向上と積極的な授業への活用を促進するために、継続してICT支援員を配置する。
- (2) 生成AIを活用した校務の効率化を図るために、情報提供及び研修会を実施する。

### 3 ペーパーレス化の推進

- (1) 電子申請を推進し、押印やFAXの見直し、原則廃止を行うことで、行政機関との連携を強化する。
- (2) デジタル教材の活用により、紙媒体の教材利用の削減を図る。
- (3) 会議資料のデジタル化やオンライン会議を推進することで、ペーパーレス化な会議運営を促進する。
- (4) 端末等の活用により、保護者との情報共有を迅速化及びペーパーレス化を推進する。

### 4 校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業の一掃

- (1) 不合理及び非効率的な手入力作業を洗い出し、改善策を講じることで教職員の負担軽減を図る。